

研修での学びと 保健師として目指す支援

健康管理センター 保健師

自己紹介

保健師として働きたいと思った理由

保健師 = 病気の予防の唯一の専門職

最終目標は病気にならないこと、ではなく、健康でいることでその人がいきいきと人生を送れること

→その人の人生そのものと向き合い、寄り添う仕事
そこに魅力を感じた

新人研修での学び

■ 病院として、医療を安全に提供すること

人間は間違えるという前提で、病院が一丸となって安全対策に取り組むことが大切。「安全文化の確立」

■ 患者さんの立場に立ってケアを考えること

病棟で勤務していたころを振り返って・・・

- ・業務に追われて、ただ仕事を片付けるだけになってはいなかったか？
- ・“慣れ”のせいで鈍感になってはいなかったか？

新人研修での学び

- 基本に立ち返り、1つ1つのケアの目的や手順、根拠などを踏まえてケアに入ること

曖昧な知識のままだったり、“自己流”になってしまったりしていたことを認識できた。
- 多職種で連携すること

それぞれが専門性を発揮することで、質の高い医療・看護が提供できる。

医療従事者同士がコミュニケーションをとり、互いに信頼しあう関係を作ることが必要。

これから実践したい支援

■ 相手の立場に立って考える

その人の生活、大切にしていることなどを知り、それを共有して寄り添うことが大切。

そのことを忘れてしまえば・・・

→保健師の押しつけ

後につながらない、その場限りの関わり

目指すのは

「この人になら相談してみよう」

「この人に会えてよかった」

これから実践したい支援

- 目的達成のため、他職種と連携を図りながら支援する

目の前の仕事に追われているうちに、本来の目的を見失うことがないようにしたい。

「この程度でいいや」ではなく

「もっといい支援があるのでは？」

自分だけでは思いつかなくても、他職種と連携することで生まれることがある。